



岩松小学校だより



学校だより 第1号

令和8年4月7日発行

発行者 校長 真子靖弘

令和8年度 学校運営方針

岩松小学校での職務を任せられ、3年目の春を迎えました。昨年度までに築いてきた成果をさらに大きく広げ、残された課題には子どもたち、教職員と共に真正面から向き合って参ります。保護者の皆様、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

年度初めにあたり、私の教育理念と、今年度の学校教育目標についてお伝えします。

〈教育理念〉 自律した子どもを育てる

学校教育の使命は、「自分が生きる社会を当事者として、主体的に歩んでいく子ども」を育てることにあると考えます。そのために本校では、次の2つの力を軸に据えています。

1 社会の中でよりよく生きていくための力

2 よりよい(持続可能な)社会をつくるための力

具体的には、社会生活の基礎となる「9つの非認知能力」の育成、そして「自由の相互承認」を肌で感じながら、対話を通じて物事を決めていく「民主主義の体験」を教育の柱とします。

〈9つの非認知能力：未来を拓くスキルの種〉

- ①感情をコントロールし、落ち着いて行動する(自制心)
- ②自分の役割を認識し、最後までやり遂げる(責任感)
- ③困難に負けず、粘り強く努力する(グリット)
- ④多様な価値観を認め、他者を尊重する(寛容性)
- ⑤円滑にコミュニケーションを図る(対人関係能力)
- ⑥共通の目的のために他者と力を合わせる(コラボレーション)
- ⑦未知のものにワクワクし、自ら探究する(好奇心)
- ⑧状況を分析し、解決策を導き出す(問題解決能力)
- ⑨物事を多角的に、論理的に捉える(クリティカルシンキング)



令和8年度 学校教育目標

今年度、私たちはさらに一歩先へ進みます。

それは、子どもたちを「教えられる対象」から、「自ら学ぶ主体(エージェント)」へと転換させる挑戦です。

〈学校教育目標〉

「自律」・「尊重」・「挑戦」を大切にする学びがある学校～自ら未来を拓く「エージェント」としての主体性の育成～

自律…自ら考え、判断・決定し、行動する

尊重…他者の価値観や人格などを認め、大切にする

挑戦…失敗を恐れず、新しいことや困難に立ち向かう

学校は「社会に出るための準備の場」であり、同時に「未来の社会の縮図」です。子どもたちが自己選択・自己決定を繰り返し、多様性を尊重しながら、失敗を糧に新しいものを創り出すことを楽しむ。そんな教育環境を、全職員一丸となって整えて参ります。



めざす子ども像

私たちが生きる現代は、正解のない問いに立ち向かい続ける時代です。このような社会において、変化を恐れず、自らの意志で人生を切り拓いていけるよう、具体的に次のような「子ども像」を掲げ、日々の教育活動を展開して参ります。

〈めざす子ども像(主体的な学習者)〉

- AIを道具として使いこなしつつ、人間にしかできない「深く読み解く力」と「他者と協働する力」を備えた子
- 自分を深く知り、対話を通じてより良い未来のために行動できる子
- 「9つの非認知能力」を備え、自らの意志で学びを調整できる子

「学校だより」に込める思い

これからの「学校だより」では、私の教育に対する考えや、保護者の皆様・子どもたちと一緒に考えたいテーマを定期的にお届けします。子どもの未来のために、学校と家庭がそれぞれ何をすべきか。共に手を取り合い、考えていければ幸いです。

一筋縄ではいかない変化の激しい時代ですが、子どもたちの可能性を信じ、共に歩んでいきましょう。

